

報道関係各位

2024年12月17日
株式会社サンシャインシティ

水族館&いきものを深掘り！発見がいっぱい！

いつでも、どこかで“何かが起きている”サンシャイン水族館がお届けする

いきものディスカバリー通信vol.23

「生き物たちも年末の大掃除！？お掃除をする生き物をご紹介します」

サンシャイン水族館のお掃除をする生き物たち



- ▲ **ホンソメワケベラ**：他の魚の体表や口の中を掃除する“クリーナーフィッシュ”！
- ▲ **セルフインプレコ**：水槽にくっつき壁面のコケを食べる“水族館のお掃除係”！
- ▲ **ダイオウグソクムシ**：腐肉など生き物たちの死骸を食べ海底をキレイにする“海の掃除屋”！

サンシャイン水族館(東京・池袋)では、12月26日(木)～31日(火)の期間、「年末の大掃除」にちなみお掃除をする生き物を紹介するパネル展示を行います。サンシャイン水族館でも活躍する、お掃除をする生き物として“クリーナーフィッシュ”とも呼ばれるホンソメワケベラや、水槽の掃除をしてくれる“水族館のお掃除係”セルフインプレコ、生態系の中で重要な役割を担っている“海の掃除屋”ダイオウグソクムシの3種をピックアップ。

今回のいきものディスカバリー通信では生き物たちがお掃除をする理由をはじめ、生態系の中での役割や不思議な特徴など知られざる生態や魅力、奥深さについてご紹介します。

周りにはいつも魚たちの行列が！？
魚たちの人気者！

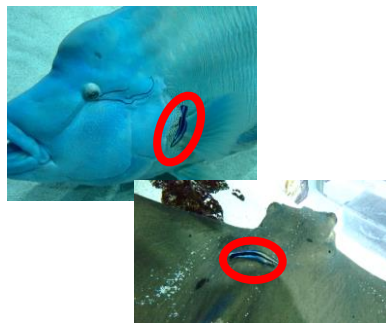
ホンソメワケベラ



■ **展示水槽**：本館 1F 大水槽「サンシャインラグーン」、「チョウチョウウオの舞」水槽
ホンソメワケベラはスズキ目ベラ科に属する、10cmほどの小さな海水魚で白と青のグラデーションがあった特徴的な体色をしています。ホンソメワケベラは、**他の魚の体表やエラに付いた寄生虫や、口の中の食べカスを食べる掃除屋で、「クリーナーフィッシュ」**とも呼ばれています。小さな魚からエイのような大型魚まで、さまざまな魚たちの掃除を行います。泳ぎ方も独特で、まるで踊っているかのように見え、周りの魚たちに自分が掃除屋であることをアピールします。クリーニング中の魚の周囲には順番待ちをしている魚がいることもあり、魚たちの中でも人気者です。「サンシャインラグーン」水槽の魚たちの口の中やエラのあたりもよく見てみるとホンソメワケベラを見つけられるかもしれません。

■ なぜ食べられないの??

ホンソメワケベラは大型魚や肉食魚と互いに利益を得る共生関係を築いているため、大型魚や肉食の魚の口の中にも食べられることはありません。魚たちは体に付いた寄生虫や食べカスを食べてもらうことで体がきれいになる一方、ホンソメワケベラはエサを得ることができます。**お互いの利益が成り立っているため、ホンソメワケベラは大型魚や肉食魚に攻撃されることなく、安心して魚の口の中や周囲で掃除を行うことができます。**



ホンソメワケベラがメガネモチノウオやエイの背中を掃除する様子

掃除の様子：https://x.com/Sunshine_Aqua/status/1265908324513406976

■ 自分を認識できるかしこい魚??

ホンソメワケベラは、鏡に映る姿を自分だと理解できることが世界で初めて明らかになった魚とされています。

大阪市立大学の研究グループにより、ホンソメワケベラの体にマジックで印をつけたマークを、鏡で認知して砂で擦り落とそうとしたことで、魚類が鏡に映る姿を自分だと認識できることが世界で初めて明らかになったそう。

この「鏡像自己認知」は、人間やカラスなど高い認知能力を持つ生き物しか持たない能力でしたが、この実験により**魚類にもあることがわかり、世界の常識を覆す大発見**だと言われています。

セルフインプレコ

水槽にくっついている時は掃除中！？



■ 展示水槽：本館 2F「大河アマゾン川」水槽

セルフインプレコはアマゾン川全域に生息するナマズの仲間で、黒褐色や茶褐色の体色に迷路のような模様をしています。

泳ぐ姿が優雅で格好いいと熱帯魚好きの間でも人気の魚で、ヨットの帆のように成長する大きな背ビレからセイル（帆）とフィン（ヒレ）を合わせた名前が由来とされています。

■ 特徴を生かしたお掃除方法！

セルフインプレコの最大の特徴である吸盤状の口は水槽の壁面などにくっつくことができます。

口には無数の小さい歯がついていて、水槽の亚克力や流木・石に付着したコケなどを削り取って食べます。

エサの食べ残しだけでなく、自然に生えてくるコケ類も食べるため、飼育スタッフの掃除のお手伝いもしてくれるお掃除係として水族館にとってもありがたい存在です。

盛んに水槽の亚克力面や流木についたコケを「ハムハム」する仕草はとても魅力的なので、ぜひ特徴的な口を観察してみてください。



ダイオウグソクムシ

深海生物界のスター！？



■ 展示水槽：本館 1F「冷たい海」水槽

深海生物の中でもかなりの人気者、ダイオウグソクムシは陸上で生活するダンゴムシやワラジムシなどと同じ仲間で、等脚目の中で世界最大種です。

見た目はダンゴムシにそっくりですが、体全体をきれいに丸めることはできません。

お腹側には歩脚と遊泳脚を持ち、お腹を上にした状態で遊泳脚と尾を使って活発に背泳ぎで水中を泳ぎます。そのスピードは意外と速く、じっと動かず海底にいる普段の様子とのギャップに驚くかもしれません。

グロテスクで怖いという人もいるダイオウグソクムシですが、知られざる生態や謎の多さからマニアにはたまらないスター的な人気の生き物です。

■ 何を食べるの？

ダイオウグソクムシは雑食性で、何でも食べます。

海底に沈んだクジラなど生物の死骸や弱った生き物を食べることで深海をきれいにするため「海の掃除屋」とも呼ばれます。

そのため、ダイオウグソクムシは、生態系の中では重要な「分解者」として水質や生態系のバランスを保つ役割を担っています。

■ 不思議な生態

ダイオウグソクムシは**大きい体をしていますが食べる量はそれほど多くありません。**

ある水族館で飼育されていたダイオウグソクムシは、2019年に死ぬまで5年間絶食しており、その神秘に満ちた生命体への関心が高まりました。

少食、絶食でも耐えられる理由として、深海は水温が低く、消費するエネルギー量も少ないため、食べるエサの量も少なくて済むという説があります。

少ないエサで巨大化できるダイオウグソクムシの生態はまだわかっていないところが多くあります。

【飼育スタッフによる解説】ダイオウグソクムシってどんな生き物？グソクトーク！

<https://www.youtube.com/watch?v=6CFyoRO9BXo>

<飼育スタッフのコメント>

「水槽の中の掃除」、「海の掃除屋」など“生き物がお掃除!?”と聞いてピンとこない方がたくさんいると思います。そこで今回、年末の大掃除にちなんで“お掃除にまつわる生き物”にフォーカスを当てました。こんな生き物があるんだと覚えていただけたら嬉しいです。3種類紹介している中でも特に小さな種類なのがホンソメワケベラです。小さな身体で自分より何十倍も大きな魚の体表やエラにいる寄生虫、口の中の食べカスを食べてくれます。エラの中や口の中に入ってお掃除するため食べられているのかと心配になるかもしれませんが、共生関係を築いているため大丈夫です。「サンシャインラグーン」水槽や「チョウチョウウオの舞」水槽でも泳いでいますので、ぜひお掃除している風景を観察してみてくださいね。



サンシャイン水族館 飼育スタッフ
魚類担当北口友夏 (きたぐちともか)

サンシャイン水族館のお正月イベント



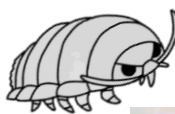
2025年の干支は巳年！
サンシャイン水族館のスsouミヘビを紹介！！



2025年1月1日(水・祝)～7日(火)に「サンシャイン水族館のお正月2025」を開催。期間中は“干支にまつわる生き物たち”を紹介。2025年の干支である「巳(ヘビ)」に合わせて、サンシャイン水族館にいる脱皮をする生き物や、名前に「ヘビ」がついている生き物を紹介パネルとともに展示します。また、生き物たちのトレーニングやエサやりなどを、期間限定のお正月ver.で実施するほか、探検ガイドツアー(有料)にご参加いただいた方全員に、何が入っているかはお楽しみ!?な生き物たちの落とし(お年)玉をポチ袋に入れてプレゼント。

<https://co.sunshinecity.co.jp/archives/007/202412/a5636d6a5383c77273b607eafc39c519.pdf>

スsouミヘビ



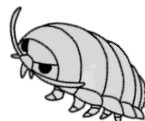
＼おせちもいいけどカレーもね！／
オオグソクムシ入り?のサンシャイン水族館オリジナル「^{しんかい}辛海カレー」
好評発売中



サンシャイン水族館ではオリジナル商品としてオオグソクムシの粉末が入ったレトルトの「辛海カレー」をサンシャイン水族館館内2階のショップアクアポケットにて販売しています。

中辛タイカレーの中には粉末になったオオグソクムシが!!!インパクト抜群なカレーはどんな味がするのか…ぜひ確かめてみてください。

サンシャイン水族館オリジナル「辛海カレー」(734円)



いきものディスカバリー通信

のアーカイブはこちらから→ <https://sunshinecity.jp/aquarium/animals/discovery/>



※画像はイメージです。※金額はすべて税込です。※状況により、内容・スケジュールが変更になる場合がございます。

■サンシャイン水族館(通常営業)概要

所在地：東京都豊島区東池袋3-1 サンシャインシティ ワールドインポートマートビル・屋上

営業時間：10:00～18:00 ※最終入場は終了1時間前 ※変更の場合あり

入場料：大人(高校生以上)2,600円～、こども(小・中学生)1,300円～、幼児(4才以上)800円～ ※変更の場合あり

問合せ先：サンシャイン水族館 03-3989-3466 <https://sunshinecity.jp/aquarium/>

※土日祝日および特定日は、事前予約(日時指定・日付指定)が必要です。詳しくは、水族館 ウェブサイトをご確認ください。

株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 成保・大木・佐藤・藤村・大浦

TEL.03-3989-3329 (平日9:30～18:00) FAX.03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp

共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部 3局 3部 内山・田口・高橋

TEL. 03-6260-4861 sunshinecity-pr@kyodo-pr.co.jp

報道関係者様からの
お問い合わせ先